

## 第4回検討会での意見及び確認事項について

### 1. 新スポーツセンター基本構想検討会（第4回）で頂いた意見の概要

#### 1) コンセプト、基本方針について

- ①コンセプトは前回までの検討や関係団体の思いなどがまとまっており、この内容で素案としてまとめる。
- ②基本方針は、スポーツマンシップとともにフェアプレーについても追記し、「相手や仲間、ルール、審判を尊重し、勝利に向かって愉しむ精神＝“フェアプレー”“スポーツマンシップ”」として表記し、素案としてまとめる。

#### 2) 導入機能、導入施設について

- ①弓道場に関する導入施設の整備の方向性は、公式大会基準とする。
- ②主競技場はバレーボール、バスケットボール、バドミントン、及び卓球だけではなく、フットサルや剣道など他の競技の大会、練習場所にも使える表現とする。
- ③生涯学習施設機能は区内小学校にある施設を活用し、機能分散することを検討する。
- ④導入施設の整備の方向性として、障害者スポーツができるという内容を追記する。
- ⑤導入施設の整備の方向性として、eスポーツなどの近年動向、若者や障害者のスポーツ利用促進を図るため、ITやAIなど最新技術の導入についても触れるべきである。スポーツの体験・体感型のプログラムを増やし、学習ができる場が提供できるとよい。
- ⑥近年競技大会が増えつつあるエクストリームスポーツについて、導入を検討するべきである。（場所を提供することで競技の機会を設け、まちなかで事故の規制につながる。）

#### 3) 利活用プログラムについて

- ①指導者の育成は、指導者が利用者に情報を提供する、案内することができるよう、各競技団体や区で行っている取組みなどとの連携を図ってほしい。
- ②運営協議会の設置は固有名詞を使わず、幅広く方向性がわかる表現とすべきである。
- ③成果が目に見えてくることもスポーツ中核施設として重要であり、そうした調査・研究・発信ができれば、関係するそれぞれの方の励みにもなり良い。調査研究方法については今後検討する。
- ④「コンディショニング」「リ・コンディショニング」という視点から、スポーツセンターをフレイルや介護予防、リハビリのできる場としても活用できるのではないか。
- ⑤区内事業者との連携により、平日の昼間利用を促進できれば良い。

#### 4) その他

- ①スポーツセンター建て替えに際しては、運営休止などの空白期間を設けることなく継続して関係団体や指導者が活動できるよう配慮してほしい。
- ②スポーツセンターの場所や建て替えに関する空白時間の検討については、本検討会で作る素案には今後具体化していく中での検討項目として、課題を記載する程度にとどめる。

## 2. 新スポーツセンター基本構想検討会（第4回）で頂いた意見の対応

分類		第4回検討会意見	素案対応箇所
基本方針 コンセプト、	①	コンセプトは前回までの検討や関係団体の思いなどがまとまっており、この内容で素案としてまとめる。	p. 11 コンセプト
	②	基本方針は、「相手や仲間、ルール、審判を尊重し、勝利に向かって愉しむ精神＝“フェアプレー”“スポーツマンシップ”」として表記し、素案としてまとめる。	p. 12 2) 基本方針 (3)
導入機能、 導入施設	①	弓道場に関する導入施設の整備の方向性は、公式大会基準とする。	p. 15 ⑤弓道場【新】、p. 18 図 10 (弓道場)
	②	主競技場はバレーボール、バスケットボール、バドミントン、及び卓球だけではなく、フットサルや剣道など他の競技の大会、練習場所にも使える表現とする。	p. 14 表 5、p. 15 ①主競技場【新】
	③	生涯学習施設機能は区内小学校にある施設を活用し、機能分散することを検討する。	p. 16 (2) 文化施設①②【新】、p. 18 図 10 (文化施設) ※学校をはじめとした他施設との機能分散を検討
	④	導入施設の整備の方向性として、障害者スポーツができるという内容を追記する。	p. 12 2) 基本方針 (3)、p. 13、p. 18 図 10 (スポーツ施設)
	⑤	導入施設の整備の方向性として、eスポーツなどの近年動向、若者や障害者のスポーツ利用促進を図るため、ITやAIなど最新技術の導入についても触れるべきである。スポーツの体験・体感型のプログラムを増やし、学習ができる場が提供できるとよい。	p. 14 表 5 「e スポーツ」、p. 16 (3) ③体験・体感施設、p. 18 図 10 (体験・体感施設)
	⑥	近年競技大会が増えつつあるエクストリームスポーツについて、導入を検討するべきである。場所を提供することで競技の機会を設け、まちなかでの事故の規制につながる。	p. 16 (1) ⑦屋上【新】、p. 18 図 10 (屋上・その他)
活用プログラム	①	指導者の育成は、指導者が利用者に情報を提供する、案内することができるよう、各競技団体や区で行っている取組みなどとの連携を図ってほしい。	p. 12 (2)、p. 13、p. 19 (2) ①指導者等の人材の育成
	②	運営協議会の設置は固有名詞を使わず、幅広く方向性がわかる表現とすべきである。	p. 19 (1) ③会議体組織の設置
	③	成果が目に見えてくることもスポーツ中核施設として重要であり、そうした調査・研究・発信ができれば、関係するそれぞれの方の励みにもなり良い。調査研究方法については今後検討する。	ご意見として引受
	④	「コンディショニング」「リ・コンディショニング」という視点から、スポーツセンターをフレイルや介護予防、リハビリのできる場としても活用できるのではないかと。	p. 19 (2) ②中高年の利用の促進
	⑤	区内事業者との連携により、平日の昼間利用を促進できれば良い。	ご意見として引受
その他	①	スポーツセンター建て替えに際しては、運営休止などの空白期間を設けることなく継続して関係団体や指導者が活動できるよう配慮してほしい。	p. 21 今後の課題②次のステップに向けた検討
	②	スポーツセンターの場所や建て替えに関する空白時間の検討については、本検討会でつくる素案には今後具体化していく中での検討項目として、課題を記載する程度にとどめる。	p. 21 今後の課題②次のステップに向けた検討